

短期豪ドル債オープン (毎月分配型)

追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：短豪毎月

第43作成期 2024年4月9日から2024年10月7日まで

第252期 決算日
2024年5月7日

第253期 決算日
2024年6月7日

第254期 決算日
2024年7月8日

第255期 決算日
2024年8月7日

第256期 決算日
2024年9月9日

第257期 決算日
2024年10月7日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは主としてマザーファンドへの投資を通じて、オーストラリア・ドル(豪ドル)建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

当作成期の状況

基準価額(作成期末)	4,362円
純資産総額(作成期末)	86,871百万円
騰落率(当作成期)	+3.6%
分配金合計(当作成期)	30円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

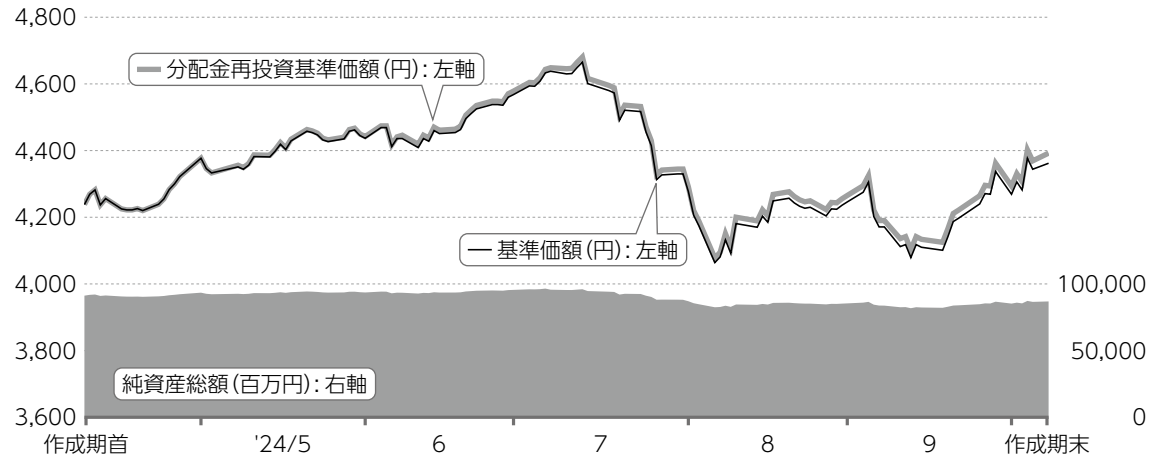
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年4月9日から2024年10月7日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,238円
作成期末	4,362円 (当作成期既払分配金30円(税引前))
騰落率	+3.6% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドはBBSW AUD 1Monthを参考指数としているため、基準価額等の推移のグラフに併記しておりません。

基準価額の主な変動要因(2024年4月9日から2024年10月7日まで)

主としてマザーファンドへの投資を通じて、豪ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ実質的に投資することにより、安定した利息収益の確保を目指して運用を行いました。

上昇要因

- 保有した債券のインカムゲイン
- オーストラリアのCPI(消費者物価指数)に落ち着きの動きが見られ、金利が低下したことによる債券のキャピタルゲイン
- 日銀のハト派(景気を重視する立場)的な姿勢や金利差などを背景に、豪ドル高・円安が進んだこと

1 万口当たりの費用明細(2024年 4 月 9 日から2024年10月 7 日まで)

項 目	金額	比率	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	21円	0.492%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は4,344円です。
(投 信 会 社)	(10)	(0.241)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.230)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.021)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実 行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(－)	(－)	
(公 社 債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.016	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.015)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	22	0.509	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

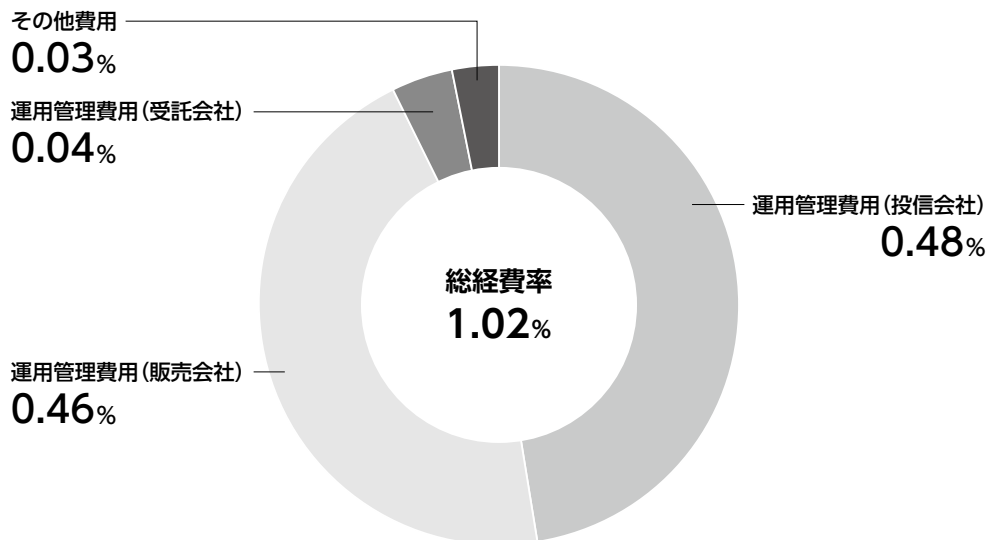
※比率欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

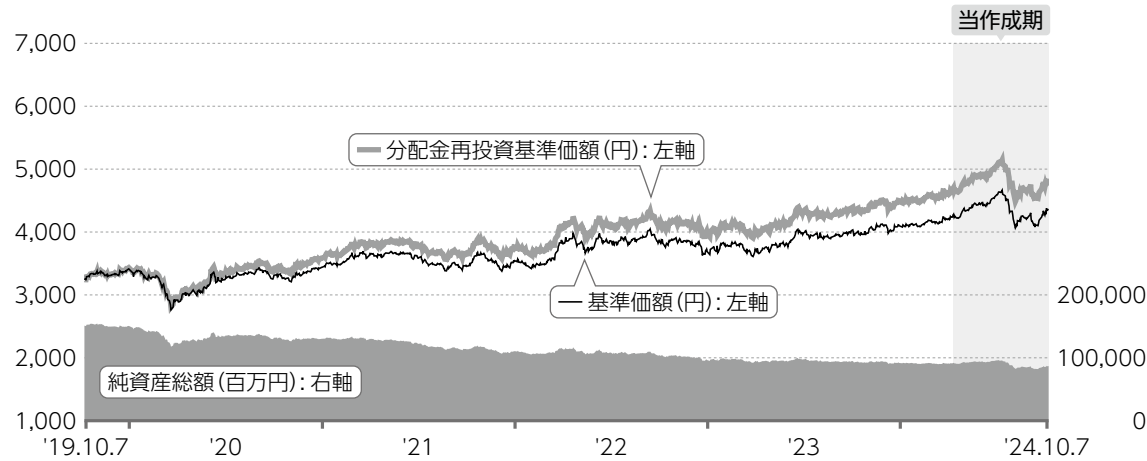
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.02%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2019年10月7日から2024年10月7日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2019年10月7日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2019.10.7 決算日	2020.10.7 決算日	2021.10.7 決算日	2022.10.7 決算日	2023.10.10 決算日	2024.10.7 決算日
基準価額	(円)	3,243	3,279	3,477	3,821	3,995	4,362
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	120	65	60	60	60
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	4.9	8.0	11.7	6.2	10.7
純資産総額	(百万円)	150,835	130,226	113,956	102,757	93,660	86,871

参考指数について

※当ファンドはBBSW AUD 1Monthを参考指数としているため、参考指数の騰落率は記載しておりません。

投資環境について(2024年4月9日から2024年10月7日まで)

オーストラリアの債券市場は上昇しました。また、為替市場では豪ドルに対して小幅に円安となりました。

債券市場

期を通じて見ると、オーストラリアの債券市場は上昇しました。

期初には、米国における堅調な経済指標やF R B(米連邦準備制度理事会)高官による利下げに慎重な発言、オーストラリアにおけるC P Iの上振れなどを受けてオーストラリアの債券市場は下落しました。ただし、期の後半に入ると、米国において軟調な経済指標が確認される中でF R Bのハト派(景気を重視する立場)化が進んだことや、オーストラリアのC P Iに落ち着きの動きが見られたことから、オーストラリアの債券市場は上昇しました。

為替市場

期を通じて見ると、豪ドル円は、小幅の豪ドル高・円安となりました。

日本政府・日銀による為替介入の観測や日銀による利上げを背景に豪ドル安・円高が進展する場面も見られましたが、日本とオーストラリアの金利差や日銀による利上げの実施は緩やかなものにとどまるとの見方が豪ドル高・円安圧力として働き、小幅の豪ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて(2024年4月9日から2024年10月7日まで)

当ファンド

主要投資対象である「短期豪ドル債マザーファンド」を期を通じて高位に組み入れました。

短期豪ドル債マザーファンド

ポートフォリオのデュレーション*は、期を通して長めの水準とし、概ね維持しました。オーストラリアにおけるインフレ率の高止まりに対する警戒感が高まる場面も見

られたものの、経済指標に鈍化の兆しが見られる中で、デュレーションは長めの水準としました。

社債比率は、高めを維持しました。利回り向上のため社債比率は高めを維持しつつ、新発債を組み入れ、残存が短くなり利回りが低下した銘柄を売却する入替えでポートフォリオの利回り上昇を図りました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い(大きい)ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

ベンチマークとの差異について(2024年4月9日から2024年10月7日まで)

当ファンドは運用の指標となるベンチマークを設けておりません。BBSW AUD 1Monthを参考指数としているため、当ファンドの基準価額の騰落率との対比をしておりません。

分配金について(2024年4月9日から2024年10月7日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項 目	第252期	第253期	第254期	第255期	第256期	第257期
当期分配金	5	5	5	5	5	5
(対基準価額比率)	(0.11%)	(0.11%)	(0.11%)	(0.12%)	(0.12%)	(0.11%)
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	230	242	255	263	273	283

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に基づき、「短期豪ドル債マザーファンド」への投資を通じて、豪ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資することにより、安定した利息収益の確保を目指して運用を行います。

短期豪ドル債マザーファンド

足元ではオーストラリアのCPIに鈍化の兆しが見られ始める中、市場ではRBA（オーストラリア準備銀行）による利下げが年末から来年の前半にかけて開始されると予想されています。足元のオーストラリアの経済には個人消費を中心に減速の動きが

見られていることや雇用市場においても緩やかながらひっ迫感に緩和の動きが見られていること、利上げの影響が今後更に顕在化してくると考えられることも考慮すると、年末にかけてはオーストラリアの債券市場においては金利低下が進みやすいと考えられます。

社債市場は、経済が底堅く推移する中で割安な銘柄を中心に堅調な推移を予想しています。このような見通しの下、デュレーションはやや長めを基本としつつも、経済指標等を注視しながらデュレーションの調節を行います。また社債ウェイトについては高めを維持することを基本とし、引き続き割安な新発債などへの入替売買を検討します。

3 お知らせ

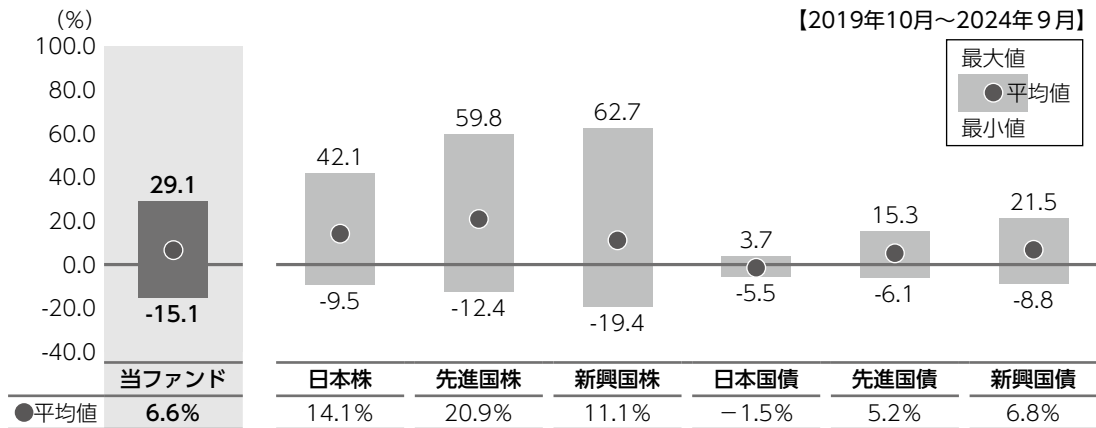
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券
信 託 期 間	無期限(設定日：2003年4月18日)
運 用 方 針	主としてマザーファンドへの投資を通じて、オーストラリア・ドル(豪ドル)建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 投 資 対 象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 短期豪ドル債マザーファンド 豪ドル通貨建ての高格付けの公社債および短期金融商品
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	■主として短期豪ドル債マザーファンドへの投資を通じて、高格付けの豪ドル建ての公社債および短期金融商品へ実質的に投資することにより、安定した利息収益の確保を目指します。 ■投資する有価証券は、原則として取得時において、長期格付けでA格以上、短期格付けでA1/P1以上の格付けを取得しているものとします。 ■原則として為替ヘッジは行いません。
組 入 制 限	当ファンド ■株式への実質投資割合は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により取得したものに限り、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 短期豪ドル債マザーファンド ■株式への投資割合は、転換社債の転換および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権行使により取得したものに限り、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	■毎月7日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

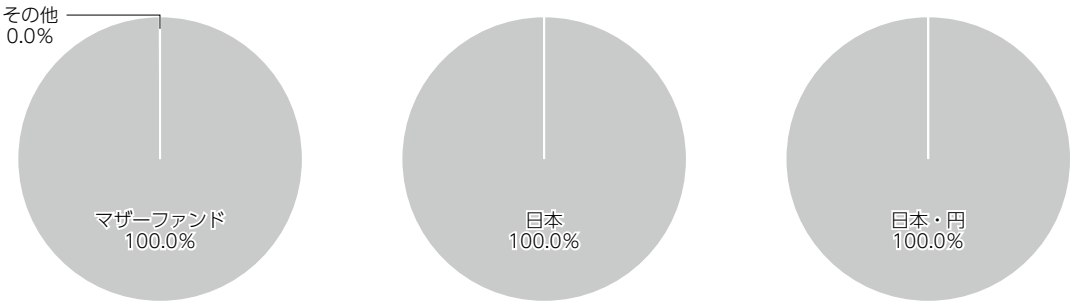
当ファンドの組入資産の内容(2024年10月7日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
短期豪ドル債マザーファンド	100.0%
コールローン等、その他	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

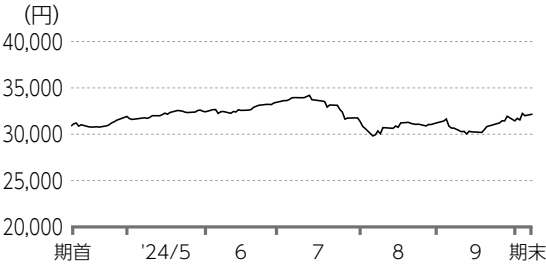
項目	第252期末 2024年5月7日	第253期末 2024年6月7日	第254期末 2024年7月8日	第255期末 2024年8月7日	第256期末 2024年9月9日	第257期末 2024年10月7日
純資産総額 (円)	92,604,546,977	93,384,613,342	95,442,361,947	83,654,968,368	82,517,564,140	86,871,242,702
受益権総口数 (口)	212,818,668,709	210,516,416,892	206,153,597,609	202,439,595,059	200,690,415,419	199,167,920,776
1万円当たり基準価額 (円)	4,351	4,436	4,630	4,132	4,112	4,362

※当作成期における、追加設定元本額は647,092,401円、解約元本額は16,685,234,878円です。

組入上位ファンドの概要

短期豪ドル債マザーファンド(2024年4月9日から2024年10月7日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)			
項 目	(内訳)	金額	(内訳)
そ の 他 費 用	(保管費用) (その他)	5	(5) (0)
合計		5	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

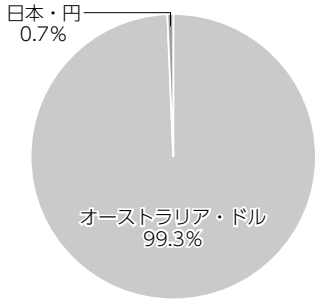
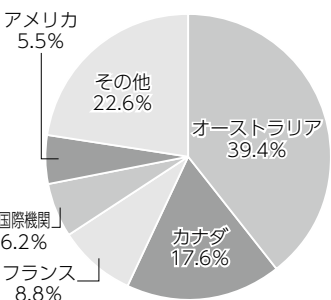
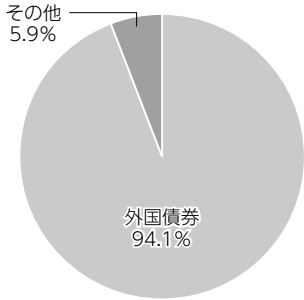
組入上位銘柄

(基準日：2024年10月7日)

	銘柄名	組入比率
1	KIWIBANK LTD FL 09/23/25	3.5%
2	TORONTO-DOMINION BANK FL 03/17/26	3.4%
3	COMMONWEALTH BANK AUST FL 01/14/27	2.7%
4	WESTPAC BANKING CORP FL 01/25/27	2.6%
5	HSBC LTD/SYDNEY FL 08/25/27	2.3%
6	SOCIETE GENERALE SYDNEY FL 03/03/27	2.3%
7	ING BANK (AUSTRALIA) LTD 4 05/26/25	2.3%
8	BANK OF NOVA SCOTIA FL 01/20/27	2.3%
9	PACCAR FINANCIAL PTY LTD 4.05 06/02/25	2.3%
10	VICTORIA POWER NETWORKS FL 04/21/26	2.2%
全銘柄数		73銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。
※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。
※基準日は2024年10月7日現在です。